

第6回山ノ内町立小学校統合準備委員会 議事要旨

○開催日時・場所・出席者

日 時 令和5年7月21日（金）午後6時30分～9時15分

場 所 山ノ内町文化センター3階ホール

出席者 （委員）

・出席委員 17名

委員長 原 隆文（小学校長経験者）

副委員長 中山 洋一（町子ども会育成会連絡協議会）

湯本 将平（南小学校PTA会長）

丸山 雅代（西小学校PTA会長代理）

佐藤 匡則（山ノ内中学校PTA会長）

青木 沙記（かえで保育園保護者会長）

阿部 次朗（ほなみ保育園保護者会長）

下田 晶子（すがかわ保育園保護者会長）

湯本 文洋（東小学校長）

中村 まゆみ（南小学校長）

齋藤 義和（西小学校長）

山口 近（山ノ内中学校長）

春日 雅之（区長会会長・佐野区長）

坂口 弘（区長会副会長・横倉区長）

吉池 茂敏（区長会副会長・須賀川区長）

小河原 康貴（コミュニティスクールコーディネーター）

佐藤 重子（主任児童委員）

（教育委員会）

山ノ内町教育長

竹内 延彦

山ノ内町教育委員会事務局 教育次長

田中 浩幸

山ノ内町教育委員会事務局 学校教育係長

坂口 俊明

山ノ内町教育委員会事務局 教育指導主事

小林 妙子

山ノ内町教育委員会事務局 学校教育係

畔上 俊樹

山ノ内町教育委員会事務局 学校教育係

宮崎 瑛

傍聴者 7名

○協議状況（議事要旨）

1 開会

- ・田中次長開会の宣告。

2 委員長あいさつ

- ・原委員長からあいさつをした。
- ・竹内教育長からあいさつした。

3 委員委嘱書交付

- ・田中次長より、統合準備委員会設置要綱をもとに説明。委嘱書交付（あらかじめ机に配布。）。
- ・委員自己紹介

4 会議事項

(1) 報告事項

ア 統合準備委員会の運営について 資料1

- ・統合準備委員会概要図をもとに坂口係長から説明した。

○質疑等

委員：専門部会について場所が決まっていない状態では、通学路や校名等を検討する意味がない。北部では西小学校統合の際、高齢者と保護者で意見が分かれたが、将来1校統合を見据え西小学校と統合した。1校統合が遅れている理由が明確に示されていない。何がいけないのかを指摘してもらい検討すべき。

委員長：場所はこの後事務局から説明がある。スケジュールは、整備計画では今後ある程度決めて進めていく。具体的な数字が出てくるのでご意見を。

事務局：統合の場所などが決まってから専門部会を立ち上げるとした趣旨で説明。

委員：町長は統合ストップという考えか。統合はするべき。委員会の中で進めていいのか、本当に統合がこのまま進んでいけるのか、はっきりしていないのに議論しても前には進まない。

委員長：準備委員会が開かれているということは、統合を進めていくものと理解しているがどうか。

事務局：町長としては、教育方針や内容などに具体的なご意見をいただいたうえで、どういう学校を創るべきかの議論を地域でお願いしたいと話があった。統合しないということではない。場所、開校目標年度は準備委員会で議論を重ね、各地で説明し、令和5年度末までには方向付けをして報告したいと考えている。

イ 小学校統合に係る経過について 資料 2

- ① 適正規模・適正配置の経過、令和 4 年度統合準備委員会について
- ② 山ノ内町立統合小学校整備計画（案） 田中次長から説明した。
基本構想、基本計画について、小林指導主事から説明した。
- ③ 今年度の統合に係る経過（既存小学校比較・改修についての検討）
・田中次長から説明した。

○質疑等

委員長：これまでの準備委員会は、中学校敷地へ新校舎建設を前提に議論してきたが、西小校舎改築案が出てくると、議論がぶれる。

事務局：議論の後戻りを感じる方もいるかもしれないが、後退ではなく確認をしたい。新築は費用がかかることを踏まえ、既存の校舎改築は無理なのか今一度検証したい。東小と中学とで検討したことがあったが、それ以外の比較検討はなかった。

委員長：西小学校をあげてシミュレーションするという。委員のお考えはどうか。

委員：P 8～9 はこれからの懇談会に資料として出す予定か。

事務局：各地域では中学校敷地に 1 校統合で議論をしてきており、西小案は混乱を招くと思ったが、各地域で議論する上で既存校舎について改めて検討している旨の説明は必要。西小と中学との検討内容は情報発信しながら進めていく予定。

委員：懇談会の予定が 8 月からとなっているのがどうかと思う。

委員：中学校敷地のハザードマップの区分はどうか。

事務局：中学校はイエローゾーンのみとなっている。

委員：中学が最近改修した時の資料を活用し費用や工期を地域へ公表できないか。

事務局：中学校は令和元年に長寿命化工事で 10 億以上かけ設備入替え、改築・耐震工事を行った。今回は一部増築も含まれる。学校規模が違うため単純比較は難しい。

委員長：場所の議論は統合の基本になるところなので、慎重に話を進めていく必要がある。西小と比較検討する理由を説明する必要はある。コスト・安全面について明確にしておくことで町民が理解しやすくなると思う。

委員：検討するのは良いこと。議会に事前に話しておいた方がよいのでは。保育園・小学校保護者の意見を聞いてほしい。地域のエゴは捨て中学校に同意した。ここで西小案を出すと、保護者は賛成しても地域から反対される。慎重に行くべき。

事務局：議会への説明は必要だと思う。令和5年3月議会で予算が否決されたのは、町長交代の理由が大きいですが、議論を尽くすべきという議会の意向を聞いている。西小案を出したことで、議論を覆すとか方針転換と思われるかもしれないが、町長は町の教育の魅力化、自身がめざす教育内容、最善最適な環境づくりを確認し決定したい、今までのプランを否定するつもりもないと言っている。これまでの議論をより客観的に再確認するという意味で可視化した資料を作ったと理解してほしい。

事務局：宮本忠長建設設計事務所からの説明を聞き、引き続きご意見いただきたい。

○宮本忠長建設設計事務所から、資料をもとに説明した。 資料2-4

事務局：資料2-3、2-4は業者と協議しながらひとつの手法として作成した。これまでの議論を可視化して信頼度の高い議論を進めるため。評価についてのご意見をいただきながら修正してきた。今後住民との議論は資料を公開し、できるだけオープンにしたうえで深めたい。町長は、教育の中身・魅力を優先し、それが実現可能な環境に予算をかけたい意向。決断のための材料がほしいと。事務局も、コストだけがメインの議論にするつもりはない。その点を踏まえてご意見いただきたい。

委員長：これまでの説明全体を通して、質問ご意見をお願いしたい。

委員：南部での町長と語る会で統合の話があった。ひとつにこだわることはないという発言。ここでは1校統合という考え方でいいのか。また、町長は移住してもらうためにも魅力ある学校を創ってもらいたいと言っていた。コンセプトが変わってくるのではないかと。外への発信と中への発信の差について聞きたい。

事務局：町長の発言は、町全体の活性化に向け観光や農業など産業とリンクさせた教育を考えたときに、拠点をまとめる以外に方法がないかという趣旨。委員の皆様から1校統合にこだわらなくても良いと意見ができれば別だが、事務局はこれまでの議論を前提とし、1校統合を大前提とした提案をさせていただく。

委員長：この整備計画（案）は苦労を重ねてできたもの。新たな要素が加わり最初から

作り直しになればこれまで何をやっていたのだということになる。扱い方によっては、西小案や他の小学校はという議論になってしまう。計画（案）の作り直しにならないようにこの資料 2-3 と 2-4 の出し方は気を付けてほしい。

委員：資料 2-3 と 2-4 は最終的にいつできたのか。この話はいつごろから出て、検討してきたのか。前任の委員からの提案で出されたのか、新年度になり出てきたのか。

事務局：4月以降の議論でできた資料。町長以下が交代し3か月余りで事務局としてこれまでの議論を踏まえ、より広く町民と共有するために客観的な議論の資料を作りたい趣旨でこの形にした。

委員：中学と西小の比較について。中学校への新築と既存校舎改修とを比べ○の数は中学校敷地が多く一目瞭然。新築が良いのは当然だがコストがかかる。教育にお金を惜しむなどか教育方針について地域住民があれこれ言う気もない。新築と改築の良さと悪さ単純比較をしても仕方がない。新築校舎は一般的に概算でいくらかかるのか。

事務局：新築と改修の双方に長所・短所ある中で、子どもたちの教育に適した環境、ランニングコスト、改めて議論していただきたい。単純に全国の標準単価・坪あたりで考えていただいた。現状で中学校敷地に考えている校舎、西小学校の改築で考えている校舎の細部は、具体的な建築費は出ていない。他の市町村にも事例があれば参考に教えていただきたい。

宮本設計事務所：整備内容で変わるため概算だが、同じ児童数で新築の場合 20～25 億か。大規模改修では 10 億以内と考えるが、屋根・壁・サッシの断熱化では使えるとか、空調や配管をやり替えて…とかばらつきが多く一概には言えない。長寿命化の流れからいくとまず耐震、設備更新、天井の補強へなど順次行うことがあるので、それを改修後いつやるかで変わる。

事務局：平均的には他市町村では 20～30 億。改修は内容で金額が変わる。

委員：費用対効果では一坪 160～180 万、一人当たり占有率等の説明の中で概ねそれに近い数字が平均的な数字と分かった。今後この比較の話委員会だけですか。町長は広く意見を聞いて検討をとの意向、西小改築と中学校敷地新築の選択の方向にいくと思うが、自分は中学校敷地に統合校をという解釈で今日の会議に参画している。事務局の方針は。

事務局：事務局の立場は、これまでの議論を大前提として進めたい。ただ、公平な議論ということで統合は準備委員会が中心になり、総意をもう一度確認しつつ、町長、議会、町民に対し説明を尽くすという流れにしたい考え。その材料として地域での議論で出た意見をこの委員会に返し今年度中には場所を決定しスケジュールをまとめたい。事務局は、議論を整理・集約し委員の皆様にお返しすることに専念したい。また、西小と比較しながらこれまでの議論の客観性を上げていきたい考え。

委員：今後のスケジュール案の8月の説明会・懇談会で西小案を出すと説明だけで時間がかかる。事務局の方針、教育委員会としてはこういう議論を経て中学校に統合したいと町長に提案すべき。町長に説明する資料としてはいいが、町民に示せばまた揉めて統合が遅れる。子どもたちのための検討だということを慎重に考えてほしい。

委員長：(2) 協議事項に移る。

(2) 協議事項

ア 令和5年度統合準備委員会取り組み内容について 資料3
・坂口係長から説明をした。

○質疑等

委員長：全体を通しての質問意見があれば発言を。

・別紙について坂口係長から説明をした。

委員：別紙にある懇談会で、西小の話が出るのか。

事務局：懇談会の中で、西小案、比較、検討経過の説明が可能なのかと指摘があった。時間的にどこまで可能か調整し、ほかの方法も検討する。

委員：保護者のご意見を聞きたい。

委員：委員は今年だけなので経緯も真意もよく分からない。西小改修の提案は後戻りするのかという気持ち。町長の町づくりの全体構想があつての発言なのか、お金の問題か、なぜそういう話になったのか。町長が英語教育に力を入れたいならば(小中)隣につくるのがいいと思うが、ここで立ち止まる理由は。人口を増やすため住居の位置などからこの案が出たのか。反対派の人を説き伏せたい意図か。本音を言ってほしい。子どもを犠牲にしない大前提で議論しないと。

委員：町長が考える「教育の魅力化」を示してもらわないと進められない。このコンセプトでいいのであればこれで進めればよい。

委員長：議論が複雑になり、なかなかまとめるのは難しい。この場で委員としての総意を明確に示すこともまだ簡単にはできない。

委員：この資料が町長の言っている形なのか。これまで積み上げてきた議論がなぜ改築との違いやコスト面の議論になるのか。町長の言う「孫たちが帰ってくる」というのは、色々な勉強方法や地域の中で活動することができるような教育を取り入れることではないのか。出た意見を取りまとめ、整備計画案にある基本構想から方向性を決め、場所は中学校敷地になるという説明のほうが単純で地域の人もわかりやすい。校舎新築に20億円以上かかるとしても、単なる財政上の問題ではなく、子どもたちが将来この地域で頑張るための教育が一番のコンセプトではないか。

委員：一筋縄ではいかず大変だと思う。しかし、細かく動いていることも分かった。学校に通うのは子どもたち。長所短所あるが、子どものほうが対応・適応能力はある。問題はどんどん解決して統合に向け進めてほしいと保護者として思う。

委員：西小案は、懇談会で出すとそれだけが広まり混乱を招くと危惧している。

委員長：地域の懇談会では、今日の議論も活かして話を進めてほしい。結果についてはこの委員会に戻してほしい。

事務局：本音をというご意見は大事。今日はいろいろと意見を出してもらいよかった。消化不良の方もいたと思う。町長に迎合しているわけではなく、皆さんと同じく子どもを一番に考えている。今後地域懇談会の中で、西小案を示した場合の混乱も想定している。それも含めて関心がない方、自分ごとでない方にも多くの方に当事者として関わってもらいたい。今年度中に、皆さんのもつ学校のイメージをできるだけ同じもので共有したい。その後に設計など時間はかかるが、本当に山ノ内にとっていい学校を地域も一体となり創っていくというエネルギーを高めて集中していきたい。地域のエゴは捨てるというのは町長も言っており、いいと思う。地域も大事だが、All山ノ内で、1校統合であれば具体的なイメージを皆さんと共有したい。事務局はそのための下準備をし、できるだけ多くの方々に議論に参加していただくために努力する。

5 その他

- ・次回の日程について

令和5年9月27日（水）に決定した。

6 閉会

添付資料

- 資料1 町立小学校統合準備委員会設置要綱
山ノ内町立小学校統合準備委員会運営要領
山ノ内町立小学校統合準備委員会の概要図
- 資料2 令和4年度統合準備委員会の経過について
山ノ内町立小学校適正規模・適正配置の経過
山ノ内町立統合小学校整備計画（案）
既存小学校比較一覧
計画敷地による学習環境の比較検討
- 資料3 令和5年度小学校統合準備委員会取り組み内容